

宮城 文化・暮らし

## 巨大な画用紙、思いのままにお絵かき 仙台

仙台市宮城野区中野の立華幼稚園と立華すずらん保育園で20日、巨大な紙に絵を描く「ハッピーペインティングプロジェクト」が催された。東日本大震災の被災地支援に取り組むNPO法人「アーツ・フォー・ホープ」(東京)が企画した。

保護者らが見守る中、両園の子どもたち計69人が参加した。園庭のフェンスや遊具に張り巡らせた縦約1.5メートル、総延長約40メートルに及ぶビニールシートや模造紙に、クレヨンや絵の具で色鮮やかな絵を描き上げた。

年長の松浦明花ちゃん(6)は「透明な所に描くことができて楽しかった。またやってみたい」とほほ笑んだ。

アーツ・フォー・ホープの高橋雅子代表(56)は「アートは子どもたちの生きる原動力になる。今後も継続的に活動を続けたい」と話した。



透明のビニールシートをキャンバスに、思い思いに筆を走らせる園児たち

2014年10月23日 木曜日